

令和2年度スポーツ実施率向上事業業務委託契約に係る
公募型プロポーザル方式による選定結果について

企画提案書の提出を受け付けた3者について、学識経験者等の意見を聴取する有識者会議による審査を行い、同会議の評価結果を基に、次のとおり受注予定者を選定しました。

1 案件名称

令和2年度スポーツ実施率向上事業業務委託

契約期間：契約締結日から令和3年3月31日まで

2 選定した受注予定者

日本コンベンションサービス 株式会社

3 公募期間

令和2年1月16日から令和2年2月25日まで

4 有識者会議による審査の結果

(1) 有識者会議名簿（敬称略）（五十音順）

委員氏名	役職等
一宮 将人	一般財団法人アジア太平洋研究所 総括調査役
梅垣 明美	大阪体育大学 教授
高橋 一夫	近畿大学 教授

(2) 有識者会議の開催日 令和2年2月27日

(3) 審査基準

審査項目	審査内容	配点
現状分析と課題把握及び事業コンセプト	大阪市におけるスポーツ実施率向上施策について、スポーツ庁や各自治体の取組みを参考に現状分析と課題把握を的確に行い、本事業のコンセプトを立案できているか。	15点
効果的な広報	・市民に適切に届く情報ツール・方法であるか。 ・成果指標や目標数値は達成可能なものか。 ・目標達成への手法やスケジュールは、妥当なものか。	20点
コンテンツの企画	・「OSAKA HERO PROJECT」について、これまでの取組内容や効果検証を踏まえ、より促進・定着させる内容であるか。 ・成果指標や目標数値は達成可能なものか。 ・目標達成への手法やスケジュールは、妥当なものか。	20点

その他取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ実施率向上につながる事業内容となっているか。 ・成果指標や目標数値は達成可能なものか。 ・目標達成への手法やスケジュールは、妥当なものか。 	20点
その他、提案者のノウハウを活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ノウハウを活かした取組みは、本事業の効果を高めるものとなっているか。 ・協賛内容について、協賛会社及び協賛メリットは妥当なものであるか。 	10点
実施運営体制	過去の実績等から提案内容が現実的であり、企画を確実に遂行できる組織体制となっているか。	10点
価格	費用積算の妥当性など	5点
合 計		100点

(4) 審査を行った事業者（五十音順）

株式会社 産業経済新聞社

株式会社 JR西日本コミュニケーションズ

日本コンベンションサービス 株式会社

全3者

(5) 審査結果（有識者の評価点の合計）（合計点の高い順）

審査項目	審査内容	提案者A	提案者B	提案者C
現状分析と課題把握及び事業コンセプト	大阪市におけるスポーツ実施率向上施策について、スポーツ庁や各自治体の取組みを参考に現状分析と課題把握を的確に行い、本事業のコンセプトを立案できているか。	36点	24点	25点
効果的な広報	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に適切に届く情報ツール・方法であるか。 ・成果指標や目標数値は達成可能なものか。 ・目標達成への手法やスケジュールは、妥当なものか。 	47点	37点	32点

コンテンツの企画	<ul style="list-style-type: none"> ・「OSAKA HERO PROJECT」について、これまでの取組内容や効果検証を踏まえ、より促進・定着させる内容であるか。 ・成果指標や目標数値は達成可能なものか。 ・目標達成への手法やスケジュールは、妥当なものか。 	40点	37点	26点
その他取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ実施率向上につながる事業内容となっているか。 ・成果指標や目標数値は達成可能なものか。 ・目標達成への手法やスケジュールは、妥当なものか。 	40点	33点	26点
その他、提案者のノウハウを活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ノウハウを活かした取組みは、本事業の効果を高めるものとなっているか。 ・協賛内容について、協賛会社及び協賛メリットは妥当なものであるか。 	20点	19点	18点
実施運営体制	過去の実績等から提案内容が現実的であり、企画を確実に遂行できる組織体制となっているか。	20点	19点	19点
価格	費用積算の妥当性など	12点	12点	12点
合 計		215点	181点	158点